

幸まちづくり

独身 四五歳以下のあなた

「出あいの広場」であの人を！ 活部会

年明けの一月十日午後一時「カリヨンプラザ」三階で「出あいの広場」を開催します。



♡♡♡でええん

見つけよに！

「幸まちづくり協議会 活部会」のメンバーが、あなたに似合いの相手を見つけてお手伝いをさせていただきます。

「みえ出逢いサポートセンター」のご協力も頂き出足は好調！ 定員は男女二十人。まだ少し余裕があります。

ご家族ご親族の同伴もOK。

十二月二十五日までに幸公民館 ☎23(0)549へお急ぎください。



防災先進地視察を終えて

安部会

十一月十四日(土)雨の中、名古屋市港防災センターと防災の最先端研究をしている名古屋大学減災連携研究センター・減災館へ二十七名がバスで行ってきました。

港防災センターでは地震体験、伊勢湾台風時の映像、写真展示で災害の大きさを知ることができました。

名古屋大学減災館では「映像で振り返るライフライン防災」と題して専門研究者の解説により、地震による埋設水道管などの変化、雨水処理、土地造成地の問題点などわかり易い装置で地震の揺れを見ることが出来ました。



減災館



☆お知らせ☆

- *広報委員会 12月9日(水) 19:00
- *「活」部会 12月21日(月) 19:00
- *「伝」部会 12月はお休み



「幸小学校文化祭ふれあいタイム」に参加して

十一月八日(日)

絆部会

◎「藍染め体験」たのしかったよ！

二十人ほどの児童が参加し、「藍の会」の人より説明を聞き、ピー玉などの小物を使い、白いハンカチを結んだりはさんだり、楽しい模様が出るように考え、工夫して藍の液のなかへ...

「初めてなので、ドキドキしたけれど皆と一緒にすることが出来てうれしかった。」「とても楽しかった。とてもいい柄ができてよかった。」などの感想が聞きました。

◎「交通安全かるた」たくさん取ったよ！

最後までしっかりと読み札を聞いていないと取ることの出来ないかるたで、少し難しい注意のいる「かるた」です。お手つきをしたり、何人もの手が重ねあい歓声を上げたりと、にぎやかな楽しい時間でした。

「笑顔の会」に参加して 十一月十六日(月)

幸小学校の児童と高齢者十六人で、紅白玉入れや、昔の遊びを楽しみました。遊び方を児童に教えたり、できない遊びに挑戦したり、全員がひとりでに笑顔になれたひと時でした。

◎幸せの黄色いシートキャンペーン

今回、千八百円相当の事務用品に使わせていただきました。

「協力ありがとうございました。」

毎月十一日に「マックスバリュ川井町店」で買い物をされ、黄色いシートを「幸まちづくり協議会」のボックスに投函してください。



編集後記

早や、十二月忙しい季節に入りました。各部会も予定の行事は大半が済みましたが、まだ予定されている企画があります。広報を見て、参加してください。

記念品 贈答品 名入用品 カレンダー

お歳暮・命名祝・香典返し等
お電話下さい。お問い合わせいたします。

松阪商事 株式会社

松阪市大黒田町 1821-3 水曜定休
☎ (0598) 23-7248 (代)
FAX (0598) 23-2500

医療法人スワン

カイバナ眼科クリニック

先進医療認定施設
日帰り白内障手術

通院でお困りの方お電話下さい
 無料送迎
いたします!

目のこと何でもご相談ください
松阪市カイバナ町1638 エルム通り

☎ 0598-21-5222

幸地区のぶらり歴史散歩⑬

伝部会

御城番に入ると、城の石垣が見えてくる。ここからの眺めは市の観光ポスターに度々登場する。

御城番は、紀州藩士二十人が松阪御城番職に就いた際、藩士および家族の住居として、幕末の一八六三年（文久三年）松坂城南東の三の丸に新築された組屋敷で現在も子孫が住んでいる所もある。



松坂城址・松阪神社のある場所は、四百の森と呼ばれている。殿町中学校の校歌にもある「四百の森」とはいつのころから言われていたのでしょうか。

永享五年（一四三三年）足利六代前將軍義教公が伊勢参宮の時、伊勢山田を出て津まで向う途中松坂で日が落ちてしまった。当時の松坂には宿はなく、宵の森

を見て詠んだ歌がある。

此比の月見る宵の森ならば

猶旅人の立やよらまし

標高約三八メートルの四百の森は、古くからよいの森または、四百の森とよばれ山深い繁みであったと思われる。

国司北畠友親は、勝れたる太刀の使いが認められ家臣となった潮田小五郎に、四百の森の小城を与え、その子長助はこの地に（一五七〇年）砦を築いた・・・



時を経て氏郷が松ヶ島に入城し、後に、四百の森に移城したのである。その時この森に元々あった意非（おい）神社は切り離され、八幡宮を祀った。松坂城址と松阪神社の間を通る道に「切り通し」が見られ、その痕跡が伺える。



現在の松阪神社は、「誉田別命」（ほむたわけのみこと）（応神天皇）八幡神と「宇迦之御魂神」（うかのみたまのみこと）（穀物の神、稲荷神）を主祭神とし、明治四一年に近隣の一七神社、三三柱の神を

合祀し、松阪神社に改称したという。



階段を上り詰めたすぐ左に大きな楠が見られる。古くから松坂城の井戸とつながっているとされている。確かに楠の下は大きな穴があり子ども頃、下までよく降りて遊んだことを思い出す。この穴は氏郷が築城の時に六ヶ月をかけて掘り抜いた抜け穴だという。楠の根元から松坂城本丸の西方の空井戸まで、迷路のようになっているのが特徴だそうだ。皇学館大学の城郭研究会のメンバーが調査したが途中で落盤していて、確認が取れなかったという。城の本丸跡には空井戸として現在も保存されている。 つづく

